

## 前回8月18日の例会記録

### 出席の状況

会員数 56名 (内出席免除 3名) 出席者数 43名 欠席者数 13名

出席率 78.18% 前々回訂正 75.93%

欠席者 福元, 日笠(常), 位田, 加戸, 小橋, 永見, 大賀, 竹本, 丹治, 樋田, 山田, 山下, (平野)

### ビジター 笠岡RC 塩飽 繁樹 様

### S.A.A.



西岡会員

・笠岡RC 塩飽先生、ようこそ来て下さりありがとうございます。

・来週から3週間海外出張の為不在しますので。鴨井幹事、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈いします。



柏野会員

57年間無事故無違反の運転免許、熟慮のすえ、もう一回更新することにしました。



樋口会員

原田会員、14日～17日の間、改装工事、お世話になりました。ありがとうございます。



竹本会員

お誕生日に、素敵なお花ありがとうございました。これからも健康に気を付けて、頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお祈い致します。又本日は経営者ミーティングで大阪出張ですので、例会を欠席致します。申し訳ございません。お礼のスマイルを致します!



平松会員

終戦記念日を迎えるたびに、自分が今、生あることに感謝しています。



小松原会員

先日の旧ひな壇慰労会2次会では、女性(?)ということで、ひな壇ではない私までごちそうになってしまいました。ありがとうございました。



原田会員

誕生日のお花、ありがとうございました。樋口さん、はまゆう改装工事大変お世話になりました。今後もよろしく。



川本会員

富士山登山で娘の成長とがんばりに感動しました。児島さん、入江さん、娘の相手をしていただきありがとうございました。



堀川・入江・川本・児島・岡本(和)会員: 8月14日から米山奨学生 楊 圩 さんを加えた12名で富士登山に行ってきました。8合5勺(3,450m)の山小屋に一泊、夜来の強い風雨の為、頂上アタックを断念し、下山しました。観光組三名(岡村・高橋(峯)・川西会員)は4日間甲州観光を満喫された様子でした。懇親の宴では岡村、高橋(峯)、川西会員には大変お世話になりありがとうございました。色々ありましたが全員無事に帰岡できたことうれしく思います。

以上,9件 45,000円(累計 229,000円)

### 会長報告

8月4日の例会終了後に、原田様よりグローバル奉仕活動の注意点やリスクの事を細かく教えてもらいました。原田様より奉仕活動の提案を3点程しましょうとの事です。それを当クラブで協議し理事会で検討し、創立25周年のメイン行事にするべく慎重に進めていきたいと思ひます。

出席者: 原田様・横山・堀川・花房・西岡・小松そして松本ガバナーも同席されました。

会長 小松 忠 男



### 幹事報告

幹事 鴨 井 利 典

- ① 前回(8月4日)、外部卓話いただいた原田様よりお礼のお手紙をいただいております。まだ、DVDと本がありますので、御協力を宜敷くお祈いいたします。
- ② ガバナー月信のファイルが届いておりますので配布しております。
- ③ 米山梅吉記念館 館報Vol.24、ハイライトよねやま173号を回覧致します。
- ④ 地区大会の申し込みを既にいただいておりますが、できるだけ多くの方の参加をいただきます様、お祈いいたします。
- ⑤ 本日のメニューが一部変更となっております。



RI3360地区(タイ国)チェンライRC 直前会長 原田義之様からのお礼状

会長 小松忠男 様

前略 過日8月4日は、大変お世話になりました。例会後の打合せに於きましては、貴クラブの国際奉仕に対する熱意ある思いが伝わりました。

私なりに微力ながら、お手伝いをさせて頂きたいと思っております。向こう一ヶ月程度で、起案させて頂きたいと思っております。

さて、ご無理をお願い致しました図書、DVDの扱いにもご理解頂き、感謝申し上げます。印税と売上の一部をアカ族子供達給食支援にあてさせていただきます。 草々



例会プログラム

外部卓話

「もっと珈琲を楽しんでもらうために」

武蔵野珈琲 マスター 難波 忠博 様



《珈琲のトレンドの変化》

◎ファーストウェーブ

- ・旧ソ連との冷戦の中、中南米の国々と良好な関係を築くため、品質を問わず大量の豆を買い取らなければならなかった
- ・大量生産、大量消費、真空パック
- ・価格を安くするため、経済効率のよい浅煎り⇒アメリカンコーヒー

◎セカンドウェーブ

- ・冷戦終結後に反動から、豆を深煎りにするブーム
- ・スターバックスをはじめとする、シアトル系のコーヒー
- ・豆を品質で選ぶようになる流れがスペシャルティコーヒーへ

◎サードウェーブ

- ・浅煎りや中煎り、中深煎りなど豆にあった焙煎。ハンドドリップが主流
- ・これにより、酸味の味わいが見直される

◎そして第4のウェーブ到来か

- ・バリやブルックリンで珈琲をよりおいしく、より個性的に提供しようとする新しい流れ
- ・アイスクリーム屋さんでも、クッキー屋さんでも、パン屋さんでも、自分の店の商品にあった味のコーヒーを選ぶようになった

《カフェオレ・カフェラテ・カプチーノの違いは?》

カフェオレ ドリップコーヒー+鍋で温めた牛乳

カプチーノ エスプレッソ+蒸気で泡立てた牛乳

カフェラテ エスプレッソ+蒸気で温めた牛乳

カフェマキアート エスプレッソ+蒸気で泡立てた少量の牛乳

《珈琲の淹れ方と風味の違い》

◎ペーパードリップ ・スッキリとした後味  
・手軽にできる

◎サイフォン ・しっかりとした味  
・味を一定にしやすい

◎ネルドリップ ・コクのある味わい

◎フレンチプレス ・濃厚な味  
◎エスプレッソ ・濃厚な味

《焙煎の違いと風味の違い》

◆浅煎り ・ライト、シナモン  
・あまり一般的ではない

◆中深煎り ・シティロースト  
・フルシティロースト  
※日本では一般的なコクのある珈琲

◆中煎り ・ミディアムロースト  
・ハイロースト  
※すっきりとした優しい味わい

◆深煎り ・フレンチロースト  
・イタリアンロースト  
※苦味、深みのある珈琲。カフェオレやエスプレッソに適

《珈琲のある生活をもっと楽しみましょう》

武蔵野珈琲では、家庭で気軽に珈琲を楽しむ人を増やしたいという思いからペーパードリップを使用。その器具を使う世界観を楽しんでいるかどうか。それぞれの特性を生かした淹れ方をすれば同じ珈琲でも違った個性を楽しめます。珈琲は焙煎によっても色々な変化が生まれます。珈琲は嗜好品。豆の種類や淹れ方など、もっと自由に楽しむことによって珈琲のある生活がより楽しくなります。

## クラブ情報

### 青少年奉仕委員会報告

青少年奉仕委員長 小松原 隆代

12月21日開催予定の「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」のチラシを6月にお配りしております。皆様にご協力いただき、既に参加のお声掛けを高校にさせていただいておりますが、応募書類(参加申請書、発表要旨、個人情報に関する同意書)が3つもあるためか、高校から決定の申し込みがまだきておりません。そのため、書式が任意だった参加申請書のフォーマットを作成いたしました。また、念のため、個人情報に関する同意書も参加申請書と同様に作成いたしました。封筒も事務局にご用意いただきましたので、これらの書類を持って、もう一度各校に応募のお願いをさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、発表要旨につきましては、10月末までにご提出いただければ結構ですので、まずは、応募の申請書をお出しただけよう、今一度ご存知の高校に足をお運びいただき、参加のお願いをしていただければ、ありがたいと思います。参加高校はまだ、ぜんぜん決定しておりません。8校参加に向けて、よろしくお祈りいたします。



### 第254回 ゴルフコンペのご案内

ゴルフ同好会幹事 大饗 よし江

大雨も岡山の地では大禍なく、平穏な日々が過ごせていることに感謝したいと思います。下記のとおりゴルフコンペを開催いたします。多数のご参加お待ちしております。

日時 平成26年9月28日(日)

場所 岡山金陵カントリークラブ 岡山市北区石妻890 TEL:086-294-3888

集合時間 AM9:00 スタート AM9:28(アウト) 締切 9月20日(土) FAX 086-245-5491(大饗まで)



### 山登り同好会「富士登山記」

平成26年8月14日～17日

登山組：堀川辰也、入江直人・亮、川本洋・香花、児島正典、楊 圩、岡本和夫・修吾

観光組：岡村秀男、高橋峯男、川西熊雄

前泊組と夜行バス組に分かれた会員とその家族、および米山奨学生楊圩さんを加えた総勢12名は、元気よく富士急行河口湖駅に集合した。14日は大雨で15日の天候が危ぶまれたが、南方に美しく裾野を広げる富士は頂上までくっきりと見えていた。富士スバルラインを一路五合目(2,305m)までバスで向かった。五合目は売店やレストランが建ち並び、広場は多くの登山客でにぎわっていた。世界自然遺産に登録された影響か、国際色豊かな光景が広がっていた。金剛杖の先に日の丸をかざして歩く外国人は、何となくほほえましく感じられた。

六合目までは山腹を切り開いたほぼ平坦な道を通った。途中の泉ヶ滝で岡村、高橋、川西の三氏と別れた。六合目(2,390m)から上を見上げると、ところどころ落石防護柵が設置され、ジグザグに刻まれた道のかなたに数軒の山小屋が見える。赤茶けた山肌にはたくさんのオンタデが群生していた。七合目(2,790m)辺りには7軒の山小屋があり、思い思いに休息を取っていた。登山道はゴツゴツとした岩盤や岩礫に変わり、両手でホールドしながら登って行った。眼下には河口湖と山中湖、その間を富士吉田から都留市、大月市へと続く町並みが俯瞰できた。八合目(3,090m)に辿りつく頃には、どの顔にも疲れが見え始めていた。2軒の山小屋の前を通過し砂礫の斜面をジグザグに登っていくと、本八合目(3,370m)で須走口からの道と合流した。5軒の小屋の前を通り過ぎ、疲れもピークに達しようとする頃、頭上のポツと離れたところに一軒の小屋が見えた。あれこそ本日の宿泊地「御来光館」と確信し、最後の力を振り絞って登って行った。大した遅れもなく全員無事に到着した。標高差1,145m、5時間余りの時間が経っていた。投宿が早いせいも、小屋は閑散としており、5時からの夕食となった。強くなったガスと風を気にしながら横になった。上下一枚の布団に二人寝る狭さであった。2時間ほど眠っただろうか、受付辺りから聞こえてくる話し声と胃部不快感で目が覚めた。外は強い風とともに雨が降っているらしい。隣で寝ていた息子が布団から抜け出し、なかなか戻ってこない。探しに外へ出ると、案の定、横なぐりの風雨であった。小屋へ入れない登山者が風雨を凌ぐため、座り込んでじっと耐えている。息子は吐いたという。そのうち自分も嘔気が強くなり、吐いてしまった。朝食べたおにぎりが原因らしい。

16日は予定通り2時半に起床、出発の準備にとりかかった。受付、食事スペースは緊急避難の登山者で溢れかえていた。外は相変わらず、風雨が強い。当初の予定では頂上まで標高差270m、約1時間の行程であったが、5時に最終判断をするということにし、再び仮眠に入った。白み始め、強い風に飛ばされた雲の合間に御来光が一瞬のぞく。結局頂上アタックを断念し、下山を開始した。広めの下山ルートを何度もジグザグを繰り返しながら、途中2,3度嘔吐し、メンバーの随分あとをついて行った。約3時間で五合目の広場に辿りつき、お互いの健闘を讃えあった。入江、川本両会員は子供の頑張る姿を見て、頼もしく感じたことだろう。(続く)



### 例会情報

本日のメニュー (8月25日(ヘルシー和食))

丼物 鰻の玉子とじ丼(もみじ玉子 玉葱 貝割れ 温玉 三つ葉 もみ海苔 粉山椒)

小鉢 焼茄子(卸し生姜 糸花鰹 旨味出し) 赤出汁(浅蜆 蓴菜 水菜 粉山椒) 香物(三種盛り)

次回のメニュー (9月1日)

マグロと山芋とキヌアのサラダ仕立て モロヘイヤと木ノ子スープ 豚肉のスパイス焼き スペアリブ風デザート コーヒー パンとバター